

令和 8 年度 地域ケア研修会のご案内

【目的】

平素より公益社団法人長崎県理学療法士協会へのご支援とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

本研修会は、超高齢社会の進行に伴い、地域で安心して生活を継続できる支援体制の構築が求められる中、運動・栄養・口腔の「三位一体」による支援の重要性を理解し、多職種連携の実践力を高めることを目的としています。

近年、フレイルや低栄養、口腔機能低下は、要介護状態や生活機能低下に深く関与していることが指摘されており、それぞれを個別に捉えるのではなく、多職種が連携しながら包括的に支援していく視点が重要となっています。

本研修では、地域包括ケアにおける三位一体支援の考え方を共有するとともに、理学療法士、管理栄養士、歯科衛生士それぞれの立場から、地域での実践的な取り組みについてご講演いただきます。職種を越えて相互理解を深め、地域課題に対して協働できる視点を養うことをねらいとしています。

地域包括ケアに携わる皆様にとって、日々の実践を見直し、連携のヒントを得る貴重な機会となることを願っております。

【テーマ】 地域で実践する三位一体の支援～運動・栄養・口腔の連携～

【日時】 令和 8 年 12 月 12 日（土）9：00～12：00（Zoom 入室開始 8：30）

【プログラム】

8：30～ Zoom 入室開始

9：00～9：05 オリエンテーション

9：05～9：10 開会の挨拶 長崎県理学療法士協会 重松 康志 副会長

9：10～9：50 「地域包括ケアにおける三位一体支援の考え方と実装」

長崎大学 生命医科学域 教授 井口 茂 先生

10：00～11：50 シンポジウム

①「地域における運動支援の実践」 和仁会病院 理学療法士 富麻 俊久 先生

②「地域における低栄養予防の実践」 長崎記念病院 管理栄養士 塩竈 由紀子 先生

③「地域における口腔機能支援の実践」 長崎県歯科衛生士会 歯科衛生士 岩本 和美 先生

座長：長崎大学 生命医科学域 教授 井口 茂 先生

※ 各講義は 30 分ずつ。ディスカッションの時間は約 20 分を予定しています。

11：50～12：00 閉会挨拶 長崎県理学療法士協会 理事 飯野 朋彦

【参加費】

無料